

■エンジンアタック フェスティバル2003

工学部 大学院工学研究科では、本年度第3回目となる「エンジンアタックフェスティバル」を9月19日(金)に地域共同研究センターとの共催で開催しました。当フェスティバルは、工学部・工学研究科における研究成果を広く地域の人々に公開し、地域における科学技術の振興の一助となることを目的とするともに、本学部の研究活動の情報公開や研究内容の説明責任、企業からの共同研究



のシーズの提案なども視野に入れて実施しました。

出展内容は、「地域申請コンソーシアム研究開発事業成果」、「工学部研究プロジェクト成果」、「工学部大学院工学研究科の研究成果」、また、特別企画として、本学の学術協定校の米国オハイオ州立大学日下助教の研究発表など27件の研究成果のポスター展示ならびに担当教官による解説を行い、1日間で約500人の参加がありました。

■「徳島地域連携協議会」開催

徳島大学では、平成14年度に徳島県、県教育委員会、市長会、町村会との間で設置した「徳島地域連携協議会」の平成15年度第1回会議を平成15年9月24日(水)徳島ラジンスホテルで開催しました。

会議では、これまで自治体側から要望の高かった「情報化」と「防災」に関する徳島大学の取組状況や自治体への提言等に関する事例紹介と、平成15年度に採択された「地域貢献特別支援事業費」の個別事業のうち、「中山間地域活性化支援事業」、「地域特産品の有効利用事業」の2例の事例紹介がそれぞれ行われました。引き続き、協議題の「地域連携に関するニーズおよびシーズ等について」、「連携事業等の実施に伴う協力体制の強化について」においては、徳島県の「オンラインワン徳島実現のための

新たな行動計画」に関する連携や徳島大学の地域連携プランである「ITを中心とした、人・物・心・体の総合支援」活動の推進に関して、また、自治体と大学とのよりスムーズな連携のための活動計画など、具体的な意見交換が活発に行われました。



■学長と大学院生との懇談会

徳島大学では、9月30日に事務局第1会議室で「学長と大学院生との懇談会」を開催しました。この懇談会は今回で3回目となるもので、6研究科から20人の大学院生と青野学長、両副学長、国際交流担当および共通教育担当の両学長補佐、各研究科長、事務局長、学務部長等が出席しました。最初に学長から「国立



大学法人化に伴う徳島大学のビジョン」の説明の後、あらかじめ寄せられた意見・要望等に対し、学長ならびに各研究科長から説明があり、大学院生からは法人化後のメリット・デメリットや研究環境の改善・社会人院生の悩み等について活発かつ忌憚のない意見交換がありました。特に奨学金制度の充実、附属図書館の電子ジャーナル、専門書、文献を増やしてほしい等の要望がありました。最後に大学院生から、大学側の大学院生に対する意見・要望を聞きたいとの発言があるなど、予定時間をオーバーするほど積極的かつ有意義な懇談となりました。

■徳島大学病院除幕式

徳島大学病院では、医学部附属病院と歯学部附属病院の統合を記念して、平成15年10月1日に新病院の名標除幕式を外来棟玄関で挙行了ました。式には約70人の病院関係者が列席し、香川病院長による式辞の後、病院長、副病院長ら関係者が3階壁



面に設置された「徳島大学病院」の文字板の除幕を行いました。徳島大学病院では、統合に合わせ10月1日から、女性のあらゆる医療相談を受け付ける「女性の心のための医療相談外来」こ子供のための「小児科に設置して幅広い治療に取り組んでいます。」

■徳島大学病院 統合記念式典・祝賀会

徳島大学病院では、10月1日に医学部附属病院と歯学部附属病院が統合したことを記念して、10月10日に病院統合記念式典および祝賀会を挙行了しました。



記念式典には、文部科学省・徳島県・徳島県医師会・徳島県歯科医師会・関連病院の代表者、大学関係者等約150人が出席、まず、香川病院長から式辞があり、青野学長から激励の挨拶、長山副病院長から病院統合の経緯報告に続き、来賓からの祝辞が述べられました。式典に引き続き、医科診療部門と

歯科診療部門を2階部分でつなぐ渡り廊下で青野学長ら関係者8名によるテープカットが行われた後、新設された「女性のための医療相談外来」や「子と親のこころ診療室」などを視察の後、祝賀会が行われ新病院の発足を祝いました。

■薬学部創立80周年 記念式典開催

徳島大学薬学部は創立80周年を迎え、その記念式典、講演会が10月11日徳島大学長井記念ホールにおいて盛大に執り行われました。午後2時からの記念式典には、徳島大学関係者や徳島文理大学、四国大学からの来賓に加え、卒業生、在校生代表など185人が参列。際田学部長、青野学長および山田薬友会会長挨拶の後、三宅歯学部長と通徳島文理大学薬学部長の来賓から挨拶がありました。式典の後、会場の長井記念ホール



を寄贈されるなど徳島大学および薬学部の教育・研究に多大の支援をされた故長井貞義氏の追悼行事が行われました。午後3時から学生も加わり230人の参加者で記念講演会が開催されました。第一演者の昭和24年卒業生でアース製薬株式会社大塚正富会長が、企業の研究と経営者の立場から感銘深い講演をされました。第二演者の早川堯夫氏は、昭和39年薬学部卒業生で、国立医薬品食品衛生研究所副所長が、ポストゲノム・バイオ創薬の基礎技術とこれからの展望について話され、産・官・学連携の重要性を強調されました。

■学生の保護者代表との懇談会

徳島大学では、「学生の保護者代表と学長との懇談会」を10月24日に開催しました。



懇談会は、今回で5回目となるもので、5学部の保護者代表12名、大学からは青野学長、黒田・川上両副学長、各学部長および森澤事務局長等が出席しました。

初めに、青野学長から大学の現状、法人化後の大学の運営方法等について具体的に説明、続いて各学部長から、事前に寄せられていた保護者からの意見・要望等に対して詳細な説明・報告の後、意見交換が行われました。

保護者からは、法人化後の大学の管理運営の在り方、COE等の競争的資金の獲得状況、医学部・歯学部附属病院の統合、チュートリアル教育などについて、学生・保護者の視点からの、建設的な意見や質問があり、法人化後の徳島大学に寄せる期待の大きさを感ぜさせる懇談会となりました。

■地域住民との 国際交流親睦会

徳島大学では、国際交流会館に同居している留学生やその家族と地域住民との親睦会を10月18日に開催しました。

この親睦会は、同会館が平成7年に設置されたことを機に北島町8丁野住民と留学生との交流を深めるため、毎年実施しているもので今年で9回目となりました。

当日は、天候に恵まれ市川会館長をはじめ、留学生担当の教職員10人



国際交流会館入居者約60人、8丁野自治会から、会長外約50人の合計約120人が参加しました。

メキシコ、フランス、イギリス、カンボジア、中国、韓国、マレーシア等の留学生が作った多彩な料理や、地域住民が作った日本料理に参加者は舌鼓を打ちました。また、餅つき大会には留学生全員が参加し、慣れない手つきで杵を使い、地元の人と一緒についたてのお餅を丸めておいしそうにはおぼっていました。

最後にフリーマーケットも開催され、地域住民との交流を大いに深めた一日となりました。

■第51回徳島大学祭開催

11月1日(土)から3日(月)までの3日間の日程で第51回徳島大学祭が開催されました。今年のテーマは「FULL POWER」、ただやみくもに頑張るといっわけではなく、徳島大学祭の成功という共通の目的を達成するために丸となり、全力を尽くすという思いが込められていました。

大学祭初日は好天に恵まれ予定どおり実施されたが、2日目、3日目はあいにくの雨天となり一部の企画が中止、変更等を余儀なくされました。しかし、実行委員の頑張りや学生の盛り上げによりテーマのフルパワーは遺憾なく発揮されました。悪天候にもかかわらず入場者も多く、また開催期間中に於いての事故・事件等もなく成功裡に無事終了しました。

